

2026 年度 総合型選抜 A O 入試＜第 1 次選抜＞

小論文

【理工学部 建築学科】

日本の人口は 2008 年をピークに減少に転じ、減少の速度は世界トップクラスといわれる。同時に世界最速で少子高齢化も進み、令和 5 年、国立社会保障・人口問題研究所は「日本の総人口は 50 年後に現在の 7 割に減少し、65 歳以上人口はおよそ 4 割を占める。」と将来推計人口を公表した¹⁾。

人口減少は社会の仕組みだけでなく、学校の統廃合、病院の閉鎖、公共交通の縮小などにより、地域の建築や都市空間のあり方に大きな影響を与える。都心部では再開発による大規模建築が新設される一方で、過疎化や限界集落の問題、さらに都市部でも空き家やシャッター街は深刻化している。

このように建築や都市を取り巻く社会的環境が大きく変わる時代において、建築にはどのような役割が求められるか、あるいは、どのような役割が期待されるか。そして、そのために大学で何を学ぶか？ 建築学科を目指す想いととも、あなたの考えを横書き 600 字以内で論述せよ。

1) 国立社会保障・人口問題研究所 令和 5 年 4 月 26 日, pp2023_PressRelease PDF (www.ipss.go.jp)